



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
<No. 11> 平成31年1月8日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡 2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

あけましておめでとうございます

校長 今溝 良司

生徒の皆さん、保護者・地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も変わらずのご理解ご支援を賜りますようお願いいたします。

平成31年が始まりました。これまで平成という時代の30年間を振り返ると、かつてない自然災害が相次ぎ、被害に遭われた方々も相当数おられ、皆様のご親戚やお知り合いの方もおられたのではないかと思います。心よりお見舞い申し上げます。「これまでに経験したことのない・・・」というフレーズを何度耳にしたことでしょうか。また、インターネットや携帯電話等の一気の普及により、通信手段やコミュニケーションの在り方なども大きく様変わりしました。学校現場においても、約10年間隔で学習指導要領が改定され、心の教育→ゆとり教育→脱ゆとり教育→アクティブラーニングとテーマも変遷を重ねてきました。その中で白幡中学校も30年の歴史を重ね、平成28年には「麗しの 和みの郷 白幡中」のスローガンの下、創立70周年の記念式典や行事が行われました。正に歴代のPTAの役員さん・地域の皆様のご支援があればこそその周年行事です。本校を巣立った約20,000人にも及ぶ卒業生はそれぞれの道を歩みつつも、白幡中への母校愛を抱き、地域の皆様には長い間慈しんでいただきました。新たな時代を迎えてもそれらの思いが脈々と続いていくことを願ってやみません。

昨年は生徒の活躍も素晴らしく、市内大会をはじめ県大会での上位入賞をはじめ関東・全国大会でも精一杯のパフォーマンスを発揮し、地域行事においてもお声掛けをいただき数々の場面でお手伝いをすることができました。また、学習状況も全国の調査結果や市内の水準を上回るなど全体として好調を維持しております。施設面では水道管の直結管工事が完了し、校地内の外水道は家庭で飲む水と同じ水が飲めるようになり、また、校舎西側の屋上には「白幡中学校」の校名看板を設置しました。白幡沼からご覧いただけます。先の大坂の地震被害を受け、さいたま市による緊急点検により体育館通路東側にありましたブロック塀は撤去し、新年度に再建されます。

私たちは様々な状況を何とかやり繰りし、その環境に適応するよう努力し、そのことの積み重ねから経験値を少しずつ高め生活の知恵へと結びつけてきたのだと思います。まずは、平成時代をしっかりとまとめ、次の時代もたくましく生きていこうではありませんか。3年生の面接練習でのひとコマですが、「今の思いを夢へとつなげようと努力をしていると、おそらくほぼ5年～10年以内にキラッと光る人・事・物に出会いあなたの一生を支えることでしょうか。その時を大切に。」とアドバイスしました。面接練習は一人ずつ行いましたが、すべての白幡中生にお伝えします。